

## 機械対策委員会協議事項及び議事の経過

1. 開催日時 2025年7月7日(月) 13:00～14:00
2. 開催場所 遊技会館 3階 大会議室
3. 出席者  
平岡担当副理事長 星山担当副理事長 真城委員長(愛知)  
平山副委員長(香川) 諸田副委員長(福島) 金村委員(東京)  
鈴木委員(神奈川) 飯塚委員(静岡) 童委員(大阪)  
香野委員(兵庫) 渡辺委員(奈良) 新垣委員(沖縄)  
【リモート】 泰山委員(埼玉) 村田委員(島根)  
  
太田専務理事 松谷事務局長 柳原調査役  
浅井事務局次長 前島業務部長 河田業務課課長  
兼坂業務課課長 天野業務課課長補佐 田賀業務課課員

### 4. 議事

#### (1) 遊技機の設置状況及び型式試験の適合状況等について

事務局から、資料に基づき、7月1日現在の遊技機の設置状況、直近の中古遊技機の価格動向及び6月の型式試験の適合状況等について説明があった。

#### (2) 中古機流通協議会の開催結果について

事務局から、資料に基づき、「6月2日に開催された中古機流通協議会の開催結果について、まず、全商協及び回胴遊商から、3月及び4月までの中古用及び認定用の確認証紙の発給状況について報告があった。次に、日工組から、共通遊技盤枠確認制度について報告があった。日工組において、機械的、構造的及び性能的に同一であると確認できた遊技盤枠について、グループ会社内で遊技盤枠の共通使用ができる、というものである。詳細については、5月27日付け全日遊連発第53号にてお知らせしているのでご確認いただきたい。最後に、警察庁の担当官から、「これからスマートパチスロの認定申請が始まるものと承知しているが、引き続き厳格な点検確認をお願いしたい。また、遊技盤枠の共通化については、各都道府県警察本部へ既に示達しているが、担当の窓口が困惑することもあるかと思うので、問い合わせ等があれば日工組において適宜の対応をお願いしたい。」とのお話をいただいた。」との報告があった。

### (3) ホールへのぱちんこ遊技機重量のお知らせについて

事務局から、資料に基づき、「本件については、6月17日付け、全日遊連発第89号にてお知らせしているが、機械対策委員会から、ぱちんこ遊技機の重量をマニュアル等に記載するよう要請を行った結果、日工組から、サービス・メンテナンスマニュアル又はホール専用HP(BtoB)にぱちんこ遊技機の重量を記載する、との回答を得た。今後、準備が整ったメーカーから順次、対応されることになるので、委員の皆様にも注視していただきたい。」との報告があった。

### (4) 遊技機の有線イヤホン接続について

事務局から、資料に基づき、「日工組及び日電協から、6月23日に遊技機の有線イヤホン接続について説明を受けた。両団体がホールにおける騒音問題を解決する手段の一つとして、遊技機にイヤホンを接続する機能を設けることについて警察庁に要望した結果、昨年8月23日に施行された「技術上の規格解釈基準」の改正により、遊技機のイヤホン接続が可能となった。まず、ぱちんこ遊技機の有線イヤホン対応機種が本年10月に導入開始される、とのことである。回胴式遊技機への実装については、これから秋にかけて型式試験申請を行う予定であり、市場に導入されるのは早くても年明けになるのではないかと、この説明があった。また、日工組では、今後、Bluetooth対応の遊技機も視野に入れている、とのことである。」との報告があった。

### (5) 組合員ホールからの「遊技機の不公正と思われる販売方法」の情報について

事務局から、資料に基づき、組合員ホールから提供のあった「情報の詳細」及び「メーカーからの回答」について報告があった。

引き続き、真城委員長から、「組合員ホールの皆様が投稿し易いよう、無記名での情報提供を可能としているが、メーカーから、ホール名が明かされないことを理由に事実確認ができない、との回答があった。投稿数を増やして、特定の機種に特化した全国調査を行っていくことで、メーカーの対応も変わってくるのではないかと、この説明があった。

### (6) 議題提案及び当面の諸問題について

#### ○型式試験の適合状況について

委員から、「型式試験の適合率が低くなっており、遊技機価格高騰化の一つの要因になっていると思われる。」との意見があり、本件について意見交換を行った。

○設定変更時のエラー音について

委員から、「スマートパチスロの設定変更を行う際、遊技機の電源を入り切りするため、ユニットとの通信エラーとなり、遊技機からエラー音が発報されるケースがある。メーカーや機種により、エラー音が発報しない場合や、エラー音の音量に違いがあるようであるが、ホール従業員の難聴リスク等の観点から改善できないか、との意見があった。」との説明があり、協議の結果、詳細を調査した上で、次回の委員会で改めて協議を行うこととした。

以上